

コンフューザーMM  
 信越整理番号 PH-0017  
 作成 平成 12 年 (2000 年) 7 月 7 日  
 改訂 平成 22 年 (2010 年) 12 月 1 日

## 化学物質等安全データシート (MSDS)

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : コンフューザーMM  
 会 社 名 : 信越化学工業株式会社  
 担 当 部 門 : 有機合成事業部ファインケミカル部  
 住 所 : 東京都千代田区大手町 2-6-1  
 電 話 番 号 : 03-3246-5280  
 F A X 番 号 : 03-3246-5371  
 緊 急 連 絡 先 : 有機合成事業部ファインケミカル部  
 電 話 番 号 : 03-3246-5280

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

	危険・有害性項目	分類結果
物理的・化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類できない
	(タグ密閉式引火点測定データなし)	
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類対象外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外	
有機過酸化物	分類対象外	
金属腐食性物質	分類できない	
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分外
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入 : ガス)	分類できない
	急性毒性 (吸入 : 蒸気)	分類できない
	急性毒性 (吸入 : 粉塵、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	分類できない

	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分外(低水溶性)
	水生環境慢性有害性	分類できない

※ 上記は当社分類による。

絵表示またはシンボル	: なし
注意喚起語	: なし
危険有害性情報	: なし

### 3. 組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物

以下は本製品のチューブの内容物に関する情報である。

化学名	含有量	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)
(Z)-8-ドデセニル=アセタート …Z-8-DDA	18.5%	28079-04-1	(2) -762
(Z)-11-テトラデセニル=アセタート …Z-11-TDA	11.5%	20711-10-8	(2) -762
(Z)-9-テトラデセニル=アセタート …Z-9-TDA	2.0%	16725-53-4	(2) -762
10-メチル-ドデシル=アセタート …10-MeDDA	0.3%	70711-42-1	(2) -735
(Z)-9-ドデセニル=アセタート …Z-9-DDA	0.6%	16974-11-1	(2) -762
11-ドデセニル=アセタート …11-DDA	0.2%	35153-10-7	(2) -762
(Z)-11-テトラデセン-1-オン …Z-11-TDOL	0.1%	34010-15-6	(2) -258
(Z)-13-イコセン-10-オン …Z-13-1CN	15.5%	63408-44-6	なし
14-メチル-1-オクタデセン …14Me-ODN	26.5%	93091-95-3	(2) -27
安定剤等	24.8%	—	—

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : チューブ内容物を多量に吸入した場合は、被害者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努めること。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹼で充分洗浄後、水洗すること。
- 目に入った場合 : 直ちに清潔な流水で 15 分以上洗眼すること。
- 飲み込んだ場合 : 少量の場合は、水で口中を洗い、水または牛乳を飲ませて薄めても良い。多量の場合は、本処置の後、直ちに医師の手当を受けること。

以上の措置後、医師に連絡を取り必要に応じ医師の手当を受けること。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 二酸化炭素、ドライケミカルパウダー等
- 消火方法 : 消火剤を火元へ放射、散布等して消火する。
- 消火を行う者の保護 : 火作業では、状況に応じ適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。消火活動は風上から行う。

#### 6. 漏洩時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際、皮膚に触れないようにする。
- 保護具 : ゴム手袋、保護衣 等
- 環境に対する注意事項 : 除去後の残渣量程度では、環境への影響は少ない。
- 回収方法 : できる限りチューブを拾い集め、回収する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : チューブの内容物は、引火性液体であり、火災、爆発を防止するため、火気厳禁とする。
- 局所排気・全体換気 : 換気の良い場所で取り扱うこと。
- 注意事項 : 暴露防止の為、適切な保護具を着用して作業を行う。
- 保管
- 保管条件 : 直射日光が当たらない冷暗所(5℃以下)に密封して保管する。
- 容器包装材料 : 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると、有効成分が揮散するので、密封したまま冷暗所に保管し、使用直前に開封して使い切ること。

その他 : 消防法 危険物第 4 類 第 3 石油類につき、消防法の定めるところに従うこと。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 未設定  
ACGIH TWA 未設定
- 設備対策 : 通常の換気設備、及び眼や皮膚に付着した際に即座に洗浄できる設備の設置が望ましい。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 防毒マスク
- 手の保護具 : ゴム手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質 (チューブの内容物に関する情報)

外観 (物理的状态, 形状, 色など) : 淡黄色澄明液体

臭い : 微臭あり

引火点 : 160°C (クリーブランド開放式)

項目	成分名	
	Z-8-DDA	Z-11-TDA
pH	非該当 (水に不溶)	非該当 (水に不溶)
融点・凝固点	-58.3°C	-26.2°C
沸点, 初留点及び沸騰範囲	120~125°C (3mmHg)	117°C (1mmHg)
引火点	144°C (クリーブランド開放式)	158°C (クリーブランド開放式)
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	知見なし	知見なし
蒸気圧	0.21 Pa (25°C) 0.13 Pa (20°C)	2.51 × 10 <sup>-2</sup> Pa (25°C) 1.52 × 10 <sup>-2</sup> Pa (20°C)
蒸気密度	知見なし	知見なし
比重 (相対密度)	0.879 g/ml (20°C)	0.875 g/ml (20°C)
水溶解度	2.2mg/l (20°C)	0.1mg/l 以下 (20°C)
n-オクタノール/水分配係数	log Pow 値 6.2 以上	log Pow 値 6.2 以上
自然発火性温度	知見なし	知見なし
分解温度	知見なし	知見なし

項目	成分名	
	Z-9-TDA	10-MeDDA
pH	非該当 (水に不溶)	非該当 (水に不溶)
融点・凝固点	-49.5°C	-44.5~-40.9°C
沸点, 初留点及び沸騰範囲	116~118°C (130Pa)	124~130°C (270Pa)
引火点	155°C (クリーブランド開放式)	未測定
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	知見なし	知見なし
蒸気圧	2.87 × 10 <sup>-2</sup> Pa (25°C) 1.71 × 10 <sup>-2</sup> Pa (20°C)	9.79 × 10 <sup>-2</sup> Pa (25°C) 5.99 × 10 <sup>-2</sup> Pa (20°C)
蒸気密度	知見なし	知見なし
比重 (相対密度)	0.878 g/ml (20°C)	0.866 g/ml (20°C)
水溶解度	0.1mg/l 以下 (20°C)	0.1mg/l 以下 (20°C)
n-オクタノール/水分配係数	log Pow 値 6.2 以上	log Pow 値 6.2 以上
自然発火性温度	知見なし	知見なし
分解温度	知見なし	知見なし

項目	成分名	
	Z-9-DDA	11-DDA
pH	非該当 (水に不溶)	非該当 (水に不溶)
融点・凝固点	-48.7℃	-19.0℃
沸点, 初留点及び沸騰範囲	120~124℃ (270Pa)	122~125℃ (270Pa)
引火点	142℃ (クリーブランド開放式)	未測定
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	知見なし	知見なし
蒸気圧	0.21 Pa (25℃) 0.13 Pa (20℃)	0.20Pa (25℃) 0.12Pa (20℃)
蒸気密度	知見なし	知見なし
比重 (相対密度)	0.881 g/ml (20℃)	0.870 g/ml (20℃)
水溶解度	0.55mg/l (20℃)	0.39mg/l (20℃)
n-オクタノール/水分配係数	log Pow 値 6.2 以上	ピーク1: log Pow 値 5.31 ピーク2: log Pow 値 6.11
自然発火性温度	知見なし	知見なし
分解温度	知見なし	知見なし

項目	成分名	
	Z-11-TDOL	Z-13-ICN
pH	非該当 (水に不溶)	非該当 (水に不溶)
融点・凝固点	1.1~5.1℃	2.6℃
沸点, 初留点及び沸騰範囲	138~140℃ (400Pa)	158~160℃ (130Pa)
引火点	未測定	186℃ (クリーブランド解放式)
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	知見なし	知見なし
蒸気圧	1.75 × 10 <sup>-2</sup> Pa (25℃) 9.46 × 10 <sup>-3</sup> Pa (20℃)	9.17 × 10 <sup>-4</sup> Pa (25℃) 5.01 × 10 <sup>-4</sup> Pa (20℃)
蒸気密度	知見なし	知見なし
比重 (相対密度)	0.851g/ml (20℃)	0.848 g/ml (20℃)
水溶解度	0.83mg/l (20℃)	0.1mg/l 以下 (20℃)
n-オクタノール/水分配係数	ピーク1: log Pow 値 4.35 ピーク2: log Pow 値 5.82	log Pow 値 6.2 以上
自然発火性温度	知見なし	知見なし
分解温度	知見なし	知見なし

項目	成分名
	14Me-ODN
pH	非該当 (水に不溶)
融点・凝固点	-30.5°C
沸点, 初留点及び沸騰範囲	120~125°C (400Pa)
引火点	未測定
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	知見なし
蒸気圧	1.37 × 10 <sup>-2</sup> Pa (25°C)
蒸気密度	知見なし
比重 (相対密度)	0.793 g/ml (20°C)
水溶解度	0.004mg/l 以下 (20°C)
n-オクタノール/水分配係数	log Pow 値 5.6 以上
自然発火性温度	知見なし
分解温度	知見なし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の使用条件では安定と考えられる。
- 危険有害反応可能性 : 特記すべき反応性はなし。
- 避けるべき条件 : 強酸化性物質との接触を避けること。
- 混触危険物質 : 強アルカリ、酸、過酸化物及び酸化性物質
- 危険有害な分解生成物 : 熱分解物として、水及び二酸化炭素の他に、有毒な一酸化炭素を含む有害煙を発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性 (原体)

成分名	オリフルア剤原体	トートリルア剤原体	ピーチフルア剤原体	ピリマルア原体
		Z-8-DDA	Z-11TDA, Z-9-TDA, Z-11-TDOL, Z-9-DDA, 10-Me-DDA, 11-DDA	Z-13-ICN
ラット LD <sub>50</sub>	>1,7120mg/kg	>5,000mg/kg	>17,080mg/kg	>5,000mg/kg
マウス LD <sub>50</sub>	>5,000mg/kg	>5,000mg/kg	>17,080mg/kg	>5,000mg/kg

皮膚腐食性・刺激性 (原体)

成分名	オリフルア剤原体	トートリルア剤原体	ピーチフルア剤原体	ピリマルア原体
		Z-8-DDA	Z-11TDA, Z-9-TDA, Z-11-TDOL, Z-9-DDA, 10-Me-DDA, 11-DDA	Z-13-ICN
ウサギ	軽微な刺激性 あり	軽微な刺激性 あり	軽微な刺激性 あり	軽微な刺激性 あり

- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 情報なし
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 情報なし
- 生殖細胞変異原性 : 情報なし
- 発癌性 : 情報なし
- 生殖毒性 : 情報なし
- 特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) : 情報なし

コンフューザーMM  
 信越整理番号 PH-0017  
 作成 平成 12 年 (2000 年) 7 月 7 日  
 改訂 平成 22 年 (2010 年) 12 月 1 日

吸引性呼吸器有害性 : 情報なし

適切な保護具着用しての通常の使用方法では危険性は殆どないが、チューブ内容物の皮膚及び眼への接触や誤飲等のないように注意すること。

12. 環境影響情報

生態毒性 (原体)

成分名	オリフルア剤原体	トートリルア剤原体	ピーチフルア剤原体	ピリマルア原体
	Z-8-DDA	Z-11TDA, Z-9-TDA, Z-11-TDOL, Z-9-DDA, 10-Me-DDA, 11-DDA	Z-13-ICN	14Me-ODN
LC <sub>50</sub> コイ	>30ppm (96hr)	>100ppm (96hr)	>10 ppm (96hr)	>10 ppm (96hr)
LC <sub>50</sub> セズミジノ	24ppm (48hr)	—	>10 ppm (48hr)	>10 ppm (48hr)
EC <sub>50</sub> オミジノ	—	20.5ppm (48hr)	—	—

残留性・分解性 : 知見なし

土壤中の移動性 : 知見なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 産業廃棄物処理認定業者に委託して適正に処理する。
- 汚染容器及び包装 : 産業廃棄物として適正に処理する。
- その他 : 各地域の条令等で廃棄に関する規定がある場合は、これに従うこと。

14. 輸送上の注意

- ・引火性の液体であり、火気厳禁とする。
- ・容器を転倒、落下等粗暴な取扱いをしない。
- ・消防法 危険物第 4 類 第 3 石油類に準拠すること。

15. 適用法令

- 消防法 : 危険物第 4 類 第 3 石油類
- 農薬取締法 : 第 2 条第 3 項 農薬登録番号 第 21479 号

16. その他の情報

本 MSDS の記載内容のうち、「濃度又な濃度範囲」、「物理的及び化学的性質」などの値は保証値ではありません。また、記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。